

⑤ 中小企業が行う技術開発、新製品の開発及び新たな事業の分野への進出の推進を図ること

【取組の概要】

社会経済情勢が目まぐるしく変化する中、商品等に対する社会ニーズも常に変化し、かつ多様化している。

こうした中、本県経済の中核をなす県内中小企業が、新たな製品や技術の開発、他業種への進出など、従来の枠にとらわれない、新たな取組を積極的に展開することが重要である。

このため、以下のとおり県内中小企業の新製品・新技術の開発や新事業分野への進出等の推進に向けた各種事業を実施した。

○ 新製品・新技術の開発、他業種への参入や異業種企業の連携の支援

中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認及びフォローアップ、新たな商品の開発や高付加価値化、県内中小企業の連携に対する支援など、中小企業の新商品・新サービスの開発や新事業・新分野への進出等に係る取組を支援した。

○ 公設試験研究機関等における研究開発及び研究成果の中小企業への移転等

青森県産業技術センターにおいて、本県の豊富な農林水産資源や地域の特性を活かした研究開発に取り組み、県内中小企業への技術移転を図ったほか、農商工連携による新商品開発等の支援を実施した。

○ 新たな地域産業の形成

本県の優位性を生かしたライフ関連産業振興の基本戦略（青森ライフイノベーション戦略アクションプラン）に基づき、情報発信や販路開拓・事業化の支援等を実施した。

【基本方針事業一覧】

No.	事業名	R4事業費 (千円)	R4 新規	担当課等	掲載頁
1	中小企業支援・指導・経営革新計画推進事業	471		地域産業課	91
2	あおり商品展開力強化支援事業(再掲)	2,460	○	地域産業課	91
3	あおりクラフト販売体制構築事業	11,647	○	地域産業課	92
4	神戸とつながり発展するビジネス交流推進事業(再掲)	12,613	○	地域産業課	93
5	トップブランド商品創出事業	3,126		総合販売戦略課	93
6	あおり食品産業強化サポート事業(再掲)	2,825		総合販売戦略課	94
7	産地で作る冷凍食品産業振興事業	19,816		総合販売戦略課	94
8	ニーズ対応型フローズンフーズ創出事業	15,083		総合販売戦略課	95
9	農地活用総合推進事業	754		構造政策課	95
10	熱利活用普及拡大事業	1,789		エネルギー開発振興課	96
11	再生可能エネルギー利活用高度化モデル構築事業	19,684		エネルギー開発振興課	96
12	青森ライフイノベーション戦略推進事業(再掲)	38,864		新産業創造課	97
	小計	129,132			

【 事業概要 】

中小企業等経営強化法(旧中小企業新事業活動促進法)に基づき、中小企業者等が新たな事業活動を行うことで経営の向上を図る経営革新計画を作成する際の指導、計画の承認事務及びフォローアップを行った。

【 事業実績 】

令和4年度において県が承認した中小企業等経営強化法(旧中小企業新事業活動促進法)に基づく経営革新計画は15件で、国からの依頼に基づくフォローアップ調査は6社から回答を得た。

項目名	3年度	4年度
経営革新計画承認件数	17件	15件
フォローアップ調査件数	6件	6件

(担当課：地域産業課 経営支援グループ)

【 事業概要 】

地域資源の発掘から、利活用の検討、商品企画、販路開拓に至るまで、あおもり商品の「展開力」強化を一連で支援するため、商品提案力向上を図るセミナーの開催や、地域資源の利活用に関する検討会及び地域資源を活用する上での課題等を解決するための専門家派遣を行うとともに、広く県内中小企業への効果を波及させるための成果報告を実施する。

【 事業実績 】

県内中小企業の地域資源活用や販路開拓スキル向上を目的としたセミナーを3回開催したほか、事業化に向けた個々の課題を解決するため、県内中小企業に対して延べ25回専門家を派遣し、新たな取組の支援を行った。

項目名	3年度	4年度
専門家派遣企業数	—	9社
専門家派遣回数	—	延べ 25回
セミナー開催回数	—	3回
セミナー参加者数	—	延べ 164名

(担当課：地域産業課 マーケティング支援グループ)

【 事業概要 】

本県工芸品の販路拡大による産業振興を図るため、工芸品を販売する実践力を身に付けた「くらふとサポーター」を育成するとともに、ライフスタイルの多様化に対応した商品開発と人々の生活様式の変化に対応した製品の効果的な情報発信ができる中小企業を育成する。

【 事業実績 】

首都圏ライフスタイルショップのバイヤーからの助言を受けながら、県内中小企業の地域資源を活用した新商品の開発を支援するとともに、「作る」以外をサポートする「くらふとサポーター」の育成に向け、販売モデルのブラッシュアップと実践に取り組んだ。

項目名	3年度	4年度
商品開発会等開催回数	—	4回
くらふとサポーター企画会議等開催回数	—	4回
新商品開発企業数	—	6者
販売モデル実践件数	—	3件

(担当課：地域産業課 マーケティング支援グループ)

【 事業概要 】

青森と神戸のビジネス交流推進等を目的として、ビジネス相互交流に向けたマッチング、情報発信、ビジネス連携事例の創出等を行う。

【 事業実績 】

青森・神戸の企業ニーズ等をヒアリングし、ビジネスマッチングを推進したほか、ビジネス交流の気運醸成に向けたビジネス連携事例の情報発信と交流イベントの開催を行った。

また、県内中小企業が神戸企業と連携する新規ビジネスプランを公募し、モデルプランを選定した。

項目名	3年度	4年度
ビジネスマッチング実施数	—	延べ 63 件
青森・神戸ビジネス交流イベント開催回数	—	1 回
新規ビジネスプラン選定数	—	6件

（担当課：地域産業課 マーケティング支援グループ）

【 事業概要 】

本県を代表するトップブランド商品の創出に向けて、継続的に商品開発に取り組み意欲のある食品製造業者に対し、商品開発のコンセプトやターゲットの設定から試作品開発までの包括的な取組を支援する。

【 事業実績 】

商品開発の専門家から3社が商品開発に関するアドバイスを受けた。

うち、2社の2商品が県内及び東京都内で販売された。

項目名	3年度	4年度
事業への申込件数	3件	3件
参加事業者数	3者	3者

（担当課：総合販売戦略課 ブランド推進グループ）

6

あおもり食品産業強化サポート事業（再掲）

事業費 2,825 千円

【 事業概要 】

本県食品産業の充実強化を図るため、各地域県民局に設置している相談窓口による事業者等への対応や商品開発等に関する研修会の開催等を行う。

【 事業実績 】

農商工連携食産業づくり相談窓口を設置し、各種相談に対応した。

また、加工事業者を対象に、商品力の向上を図るための研修会を開催した。

項目名	3年度	4年度
相談件数	延べ 381 件	延べ 221 件
研修会開催回数	—	2 回

(担当課：総合販売戦略課 食品産業振興グループ)

7

産地で作る冷凍食品産業振興事業

事業費 19,816 千円

【 事業概要 】

野菜等の産地と加工事業者が連携し、産地で冷凍する高品質な冷凍食品の開発と販路開拓を支援する。

冷凍食品分野への進出に伴い、加工事業者の冷凍商品の製造に係る機器のリース補助を実施する。

【 事業実績 】

産地と加工事業者が連携し、高品質な商品開発に向けた試作と実需者への求評を実施した。

また、県内加工事業者に対し、冷凍商品の製造に係る機器のリース補助を行ったほか、実需者ニーズや冷凍加工技術を紹介するセミナーを開催した。

開発した商品については、3大都市圏で開催された「青森県フェア」等での販売や、展示商談会への参加による求評及び商品提案を実施した。

項目名	3年度	4年度
産地と加工事業者の連携による商品開発支援件数	4 件	3 件
セミナーの開催回数	3 回	2 回
リース補助件数	4 件	6 件
展示商談会参加回数	2 回	2 回

(担当課：総合販売戦略課 食品産業振興グループ)

【 事業概要 】

県内加工事業者に対し県産農水産物を活用した冷凍食品の開発及び販路開拓を緊急的かつ濃密に支援していくことで、新しい商品を次々に誕生させ企業の成長を図る。

【 事業実績 】

冷凍食品分野における専門家を加工事業者へ派遣してニーズに対応した商品開発を支援した。

開発した商品については、3大都市圏で開催された「青森県フェア」等での販売や、展示商談会への参加による求評及び商品提案を実施した。

項目名	3年度	4年度
アドバイザー派遣件数	20件	12件
求評・商品提案した企業数	16社	13社
展示商談会参加回数	2回	2回

(担当課：総合販売戦略課 食品産業振興グループ)

【 事業概要 】

農業の多様な担い手を確保するため、中小企業等の農業参入を推進するとともに、既に農業参入している中小企業等の農業経営の安定に向けた取組を支援する。

【 事業実績 】

構造政策課及び各県民局に相談窓口を設置し、個別相談に応じて栽培技術や支援制度等について助言・指導した。

また、農業参入及び定着のポイントを学ぶための中小企業向け研修会を開催した。

項目名	3年度	4年度
農業参入等相談件数	21件	21件
農業参入企業訪問指導等件数	3件	0件
農業参入研修会参加企業数	—	28社

(担当課：構造政策課 農地活用促進グループ)

【 事業概要 】

熱利活用の普及に向けて、県内の各種熱利活用事例を取りまとめた事例集を作成するとともに、有識者による基調講演等を行うフォーラムを実施する。

【 事業実績 】

市町村及び県内中小企業等を対象に、熱エネルギー利活用の拡大に向けたフォーラムを開催（R5. 2月）したほか、県内全域で利用可能な地中熱の更なる普及に向けた地中熱普及プログラムを策定した。

項目名	3年度	4年度
熱利活用事例集作成件数	1件	—
地中熱普及プログラム策定件数	—	1件

（担当課：エネルギー開発振興課 環境・エネルギー産業振興グループ）

【 事業概要 】

再生可能エネルギーに関連するビジネスへの県内中小企業等の参入促進を図るため、自立分散型電源として活用できる再生可能エネルギーの特徴を活かした利活用高度化モデルを構築する。

【 事業実績 】

令和3年度に作成した構想（5件）を具体化した取組の絵姿（モデル）づくりを行うとともに、うち3件について社会実装に向けた課題等の整理・検討及び活用可能な国補助事業等の調査を行った。

項目名	3年度	4年度
検討委員会・現地視察等の開催回数	3回	6回
再生可能エネルギー利活用高度化モデルづくり件数	—	5件

（担当課：エネルギー開発振興課 環境・エネルギー産業振興グループ）

【 事業概要 】

「青森ライフイノベーション戦略アクションプラン」に基づき、同プランに掲げる重点分野（医福工連携の推進、ヘルスケアサービスの創出、モノ・コト健康美容産業の振興）において、ライフ関連産業の成長に向けた取組を実施する。

【 事業実績 】

医療や福祉の現場ニーズを学ぶ勉強会等を開催したほか、QOL向上に資するヘルスケアサービスの実証事業等を通じて新たなサービスの創出に取り組んだ。

また、プロテオグリカンやりんごなど、本県地域資源を使用した製品開発や機能性表示食品等の健康志向食品開発に取り組む県内企業を支援した。

項目名	3年度	4年度
医療・介護現場ニーズ勉強会開催回数	2回	2回
ヘルスケアサービスビジネス実証件数	2件	1件
機能性表示食品及びりんごの健康志向食品開発支援件数	5件	4件
新たに開発されたプロテオグリカン商品数	15品	24品

（担当課：新産業創造課 ライフイノベーション推進グループ）

